

第43回原子力委員会定例会議議事録

1. 日 時 平成27年12月3日（木）11:00～11:15

2. 場 所 中央合同庁舎第4号館 12階1202会議室

3. 出席者 内閣府 原子力委員会  
岡委員長、中西委員  
内閣府 原子力政策担当室  
室谷参事官、貞安政策企画調査官

4. 議 題

- (1) 第16回原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について
- (2) その他

5. 配付資料

- ( 1 ) 第16回原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について
- ( 2 ) 第28回原子力委員会定例会議事録

6. 審議事項

(岡委員長) それでは、時間になりましたので、第43回原子力委員会を開催いたします。

本日の議題は、1つ目が、第16回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催について。2つ目が、その他です。本日の会議は11時半を目途に進行させていただきます。

それでは、議題1について、お願いします。

(室谷参事官) ありがとうございます。

議題の1番目でございます。第16回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）、来週の開催の予定でございますが、この大臣級会合の開催につきまして、事務局の貞安政策企画調査官の方から御説明をお願いいたします。よろしく申し上げます。

(貞安政策企画調査官) 貞安でございます。

お手元の資料に沿いまして、開催の予定につきまして御報告申し上げます。

まず、題名、第16回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合の開催でございます。

四角の中からまいります。

日にちでございますが、来週8日の火曜日でございます。場所は三田の共用会議所を使いまして、第16回になりますが、FNCAの大臣級会合を開催いたします。

FNCAそのものでございますが、これは下の※1のところに多少書いてございまして、簡単に申しますと、我が国が主導するアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムという趣旨でございます。

この会合で、年に1回大臣級の方々に来ていただきます。年1回の政策対話をする、これが今回の会合でございます。

ちなみに、今回16回でございまして、1回目が西暦2000年に行ってございまして、これはバンコクでございました。以降、回を重ねまして、今回、第16回でございます。

下にまいります。

主催は、内閣府及び原子力委員会ということでございます。

開催日は先ほど申しましたとおりでございます。場所も申しました。

4番、参加国でございます。

FNCAには今12か国加盟してございます。日本も含めまして12か国でございまして、ここにアルファベット順に並んでおりますが、これらの国が今回も参加いたします。

その下の※の2番でございます。

日本からの出席者、主たる出席者の方がここに記載してございまして、まず島尻内閣府特命担当大臣、御出席いただきます。それから、松本内閣府副大臣にも御出席いただきます。具体的な日程は後ほど申し上げます。それから、原子力委員会、岡委員長及び委員の先生方がおいでになります。内閣府では、森本統括官、それから中西審議官及び原子力政策担当室のメンバーでございます。それからFNCAのコーディネーターという役目がございまして、日本は和田FNCAコーディネーターが御出席になります。

右側にまいります。

これが8日に予定しております会議の日程でございます。主要な項目を拾いまして、御説明申し上げます。

まず8日朝、セッション1、これは開会のセッションでございまして、これが10時半に

開催予定でございます。ただし、若干この時間がずれる可能性が出ておりまして、15分程度でございますが、日程の調整が今後入る可能性がございます。これは開会のセッションでして、現在の予定では、大臣にここで御挨拶を願うという想定でございます。

それからセッション2、これは11時、これは若干遅くなりますが、セッション2、基調講演というものでございます。ここに書いてありますテーマ「原子力活用における次のステップに向けたアジア各国との関係強化」と、こういう演題で、OECDの原子力機関、OECD/NEAから事務局長がおいでになります。マグウッドさん。今回お呼びしております、冒頭の基調講演をお願いするということになっております。

次のセッションがセッション3、国別報告と申します。12か国ございまして、各国から、それぞれの国の原子力の政策、研究及び発電の分野での各国の状況につきまして、極めて短い時間ではあるのですが、12か国が連続的に報告すると、こういうセッションでございます。

昼食を挟みまして午後に移りまして、セッション4、FNCA活動報告。これは定例の議題でございまして、年次の活動の報告の場ということで、コーディネーターが年次報告をするというセッションでございます。

次がセッション5でございます。これは円卓討議という名前になっておりまして、ここが一番各国の大臣も含めました政策のディスカッションの時間になるということで設定してございます。今年は、ここに書いてございますテーマを取り上げております。すなわち、気候変動と原子力技術の役割に関する新しいアクティビティについてと。これが一番大きなテーマでございまして、このテーマのもとにFNCAとしてどのような貢献ができるかということとを各国を交えてアクションプランをつくるまで議論をしたいという予定でございます。

当然、このテーマは今年がCOP21の年でございまして、それを踏まえた我々のFNCAとしての対応の活動という位置づけでございます。

それから、次のセッション6でございます。これは、上級行政官会合の報告に関する討議と、その下にFNCAの改革という副題をつけております。FNCAも先ほど申しましたとおり、既に15年以上経過しておりまして、大変いろいろな成果を見いだしておるのですが、同時にある程度の経年を踏まえまして、少し改革の余地もあるかな、改革の分野もあるかなという議論が内部で出てございます。それは今回、8月の時点で上級行政官レベルの議論をやってございます。その報告及び大臣級での御承認、ディスカッションという場が

これでございます。

それから、次がセッション7、共同コミュニケに関する討議と。これは今回の会合のいわば取りまとめとしまして共同コミュニケを発表するという段取りになってございまして、既に先ほど申しましたような各セッションの内容を踏まえて議論をしておるわけでございますが、最終的に大臣を交えまして、この日の討議を踏まえて共同コミュニケを採択するという段取りになっています。

以上のセッションがございまして、最後に、これは閉会セッションでございまして、セッション8をやって終了という段取りになってございます。

先ほど申しました島尻大臣、それから松本副大臣の出席予定でございまして、午前中のセッションにつきましては島尻大臣に出席を予定していただいておりますが、若干流動的な面もございますので、これは現段階の予定ということでございます。

それから、最後のセッション8、この部分には松本副大臣が出席予定でございまして、閉会の宣言をするといった段取りにしております。

以上が今回の大臣級会合の趣旨及びアジェンダの概要ということでございます。

報告は以上でございます。

(岡委員長) 御説明ありがとうございました。

それでは質疑応答を行いたいと思います。中西委員からお願いします。

(中西委員) 御説明ありがとうございました。

前々から内容は伺っているところです。ただ、内容と少し外れたことになるかもしれないのですが、12か国を対象にしていますけれども、これについては将来増えたり減ったり、というような議論はあるのでしょうか。

(貞安政策企画調査官) 実は幾つか追加で加盟の希望ということでは申出を受けてございます。例えばスリランカというお話が1年ぐらい前からございまして、ただ、なかなか先方の御意向もまだ明確な御意思ではないようでして、これから検討が必要かなという段階でございます。

(中西委員) それとあと、15年経(た)って、これから新しいアクティビティと書かれたうちの一つが気候変動ということになるわけでしょうが、気候変動というのは急に出てきたことでもないのですが、特にこれを新しいと位置づけたことの説明をいただければと思います。

(貞安政策企画調査官) これは、先ほどもちょっと触れましたが、今年がCOP21という世界的な気候変動に関する議論の年になってございます。我々、FNCAでやっております原

子力の技術、原子力の技術の研究分野で、この大きな国際的なテーマに対してどういう貢献ができるかという観点から議論をいたしまして、これも先ほど触れました8月の上級行政官会合という場の議論でございました。

結論としましては、3つのテーマを更に絞り込んだと。その中の一つがこの気候変動の気候科学と、プラネッツサイエンスということで、是非我々が持っておる知見、ないしは各国、特に今回はオーストラリアなのですが、そこの知見を活用して、FNCAとしての貢献を進めたいということで、選択に至ったという経緯がございます。

ちなみにあと2つございまして、もう一つは農業分野の促進と、それからもう一つは、やはりこれは発電に絡むのでありますが、各国で今発電の計画がございまして、なかなか各国の国民理解という面では、まだ幾つかハードルがございまして、そこのあたりをどう進めていけばいいかということ、これも知見を持ち寄るということで議論をしようと、以上3つがテーマとして選定されております。

(中西委員) どうもありがとうございました。

(岡委員長) ありがとうございます。この会合、非常に長くやってきて、それで放射線応用をかなり中心に以前はやっていてということで、それも非常に重要な活動ですけれども、今お話にあったように、少し原子力エネルギーと気候変動とか、そういうところに向いてきたのだと思うのですが。

放射線応用のところは町末男さんという方が非常に御活躍をされて、日本はJAEAの高崎研究所がありますけれども、各国といろいろな協力を進めて、各国の方も自分のお金でいろいろなことをやってきたというふうには理解をしています。

そういう意味で、町さん、残念ながら、高齢でお亡くなりになったのですけれども、その活動を活(い)かすとともに、新しいアジアの中での協力として、中心的な役割を果たすことが期待されているということではないかと思うのです。

質問は、セッション4のFNCA活動報告ですけれども、どんな感じの内容が今、予定されておりますか。

(貞安政策企画調査官) このセッションは、通常はこの年度の年次報告という体裁でございまして、FNCAは年間に活動したテーマ及び会合、これを総括的に御報告するということが毎回やっております。

具体的に申しますと、FNCAの現在10のプロジェクトを走らせてございまして、これは文科省のスポンサーシップもございまして、この10のプロジェクトにつきまして、それぞ

れが年間活動してきた報告の集約、これが1つでございます。それから、FNCAの会合としてございますのが、先ほどから申しております上級行政官会合。このレベルの打合せ、これは8月に行っております。この2つが主たる活動でございます、これを年間通した包括的な報告ということで、今回予定してございます。

(岡委員長) ありがとうございます。

上級行政官会合は既にあつて、もうそれからの報告があるということですね。

(貞安政策企画調査官) そうでございます。

(岡委員長) あとは、私の方から特にございませぬ。中西先生、何かございますでしょうか。

それでは、御説明のあつたとおり、第16回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合を開催するということでもよろしゅうございますでしょうか。

それでは議題2について、事務局からお願いいたします。

(室谷参事官) ありがとうございます。資料第2号として、第28回の原子力委員会議事録を机上配付させていただいております。

今後の会議予定について御案内申し上げます。次回第44回原子力委員会の開催につきましては、12月9日水曜日、14時30分から、中央合同庁舎4号館12階の1202会議室の方を予定いたしております。議題といたしましては、原子力利用の「基本的考え方」について、柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会会長、桑原保芳さんより御意見を伺う予定ですので、御案内を申し上げます。

以上でございます。

(岡委員長) その他、委員から御発言ございますでしょうか。よろしいですか。

今日は、阿部委員が海外出張で御欠席だったということを最初に申し上げるのを忘れまして。

御発言がないようですので、これで本日の委員会は終わります。

ありがとうございました。

—了—